公益財団法人　日本生命財団　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

ニッセイ財団

＜様式２＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 10-(a) | 活動の名称(裏面参照) |  | ｺｰﾄﾞ№(裏面参照) |
| 活動の趣旨・目的・方法等を記入ください。 |
| 10-(b) 団体の活動と地域とのかかわりの状況 |  |
| 10-(c)２０１７年度の活動実績（月別実施状況等） | 10-(d) 助成により期待される活動の広がり・効果 |
|  |  |
| 11. | 助成物品の名称（裏面参照） |  |
| 助成金の具体的使途・内訳（物品名・単価・数量・金額を記入） |
| 1. 物品購入総額（11の合計金額）

円　 | 1. 助成申請額（30万円～60万円） ※万円単位（万円未満切上）

（物品購入総額が60万円を超える場合、総額の６割以上となるよう設定ください）万円　 |

理事長殿　　　　　　　　２０１８年度　「児童･少年の健全育成助成」申請書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （ふりがな）１.団 体 名（正式名称） | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 設立･発足年月 |
| 西暦昭和年　　月平成 |
| ２.団体種類（裏面参照） |  | ｺｰﾄﾞ№（裏面参照） | 当財団の助成歴 | なし・あり↓西暦昭和年平成 |
| （ふりがな）３.団体連絡先住　　　所 |  | 電話(勤務先・自宅)　　　　(　　　)　　　　ＦＡＸ(勤務先・自宅)　　　　(　　　)　　　　メールアドレス　　　　　　＠　　　　　　　 |
| 〒　　　－　　　　様方・ 内・気付［団体所在地・代表者自宅・その他（　　　　　　）］ |
| 最寄駅　　　　　　　　　線　　　　　　駅から　徒歩・バス・タクシー　　　　　分 |
| ４.代　表　者 | （ふりがな）氏名 |  | ＜自宅＞ 電話　　　（　　　）　　　ＦＡＸ　　　（　　　）　　　＜日中連絡先＞ 電話　　　（　　　）　　　ＦＡＸ　　　（　　　）　　　 |
| 　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| （ふりがな）住所 |  |
| 〒　　　－　　　　 |
| （ふりがな）５.当申請に関する担当者日中連絡先 | （　　　　　　　　　　　）役職　　　　　　　氏名 | 電話(勤務先・自宅)　　　(　　　)　　　ＦＡＸ(勤務先・自宅)　　　(　　　)　　　メールアドレス　　　　　　＠　　　　　　　 |
| ６.団体の構成員 | ～小学生 | 中学生 | 高校生 | 小計 | 指導者 | その他（　　　） | 合計 |
|  |  |  |  |  |  |  |
| ７.主な指導者(複数名)の氏名・職業（例：学校教諭・市役所勤務・会社勤務・学生） | ８．主な収入源と金額（過去２年分）（会費、活動資金の主なもの、補助金等） |
| (上記４に記載の代表者) |  | 会員から徴収する会費　　　　　円（１人当り/年） |
| (主な指導者) |  | ２０１６年度会費 | ２０１７年度（見込） |
| 補助金（　　　）助成金（　　　） | （　　　）（　　　） |
|  |  |
| 合計 |  |
| ９.日常活動の場所・曜日 |  |

(注) １．記入にあたっては裏面の記入例ならびにコード№を参照ください。

２．申請書等に記載の情報については助成選考にのみ使用します。また、助成決定分については結果の公表、当財団作成資料に使用させていただきます。

３．記載紙面の追加(別紙参照含む)や規格外の紙面の追加はご遠慮ください。

|  |  |
| --- | --- |
| ９．日常活動の場所・曜日 | ○○公民館 ・・・毎月第2土曜日（定例会）△△山周辺等・・・毎月第１・4土曜日　　　　　　　　　　 記入例 |

**記入上の注意事項［記入例ならびにコード№］**

２．団体種類　主たる活動の内容・目的から下記区分にて記入ください。　　　　　　　　　　　　　　　　　　 10-(a) 活動の名称

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 団体の種類名 | コード | 団体の種類名 | コード |
| 伝統芸能保存伝承団体 | ２ | 自然体験・アドベンチャークラブ | １１ |
| ジュニアリーダー・ボランティア団体 | ３ | 科学・工芸・工作活動団体 | １２ |
| スポーツ少年団・スポーツクラブ | ４ | 自然観察団体 | １３ |
| 武道団体 | ５ | 人形劇・おはなし団体 | １５ |
| ボーイスカウト・ガールスカウト | ６ | 心身障がい児（者）関連団体 | １８ |
| 海洋・宇宙・交通等少年団 | ７ | 子育てサークル | ２２ |
| みどりの少年団・自然保護団体 | ８ | フリースクール | ２３ |
| 音楽・演劇団体 | ９ | その他 | ２０ |
| 子ども文庫活動団体 | １０ |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 活動の名称 | コード |
| 野外活動・自然体験活動等を通しての児童の健全育成 | １ |
| 野外活動を通してのジュニアリーダー育成 | ４ |
| 異年齢集団の交流 | ５ |
| 児童・少年の居場所づくり支援 | ６ |
| 障がいのある子どもたちの療育支援・ノーマライゼーション推進 | ７ |
| 郷土芸能の保存・伝承活動を通しての児童の健全育成 | ８ |
| 地域に根ざした文庫・読み聞かせ・人形劇を通しての児童の健全育成 | ９ |
| 芸術（音楽・演劇・美術等）を通しての児童の健全育成 | 10 |
| 創作太鼓・和太鼓演奏活動を通しての児童の健全育成 | 11 |
| 剣道・柔道等を通しての児童の健全育成 | 12 |
| 地域に根ざしたスポーツ活動を通しての児童の健全育成 | 13 |
| 子育てサークル・子育て支援ネットワーク | 16 |
| フリースクールの運営・不登校の子どもたちへの教育支援 | 17 |

３．団体連絡先住所

・団体連絡先住所は、決定連絡文書や手続要領等の送付先となり、団体連絡先電話番号は、当財団からの

連絡先・照会先となります。

また助成後３年間にわたって当財団から交流紙｢元気っこFORUM｣を団体連絡先住所宛送付しますので、

確実に連絡がとれる住所・電話番号を記入ください。

・団体連絡先住所が個人宅である場合は氏名を、勤務先である場合は勤務先名および氏名を記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 10-(c) ２０１７年度の活動実績（月別実施状況等） | 10－(a)～(d)では・活動内容が当財団の助成趣旨にかなっているか・子どもの健全育成のための活動であるか・日常活動が伴い継続性があるか・活動の推進のために助成が効果的であるか・目的を達成するために適切であるか等を判断します。 |
| 定例会（おはなし会）毎月1回４月　お花見・町探索５月　・・・６月　・・・ | ○○会への訪問交流活動（年3回）記入例 |

６．団体の構成員

・団体に所属し、実際に活動している児童・少年および指導者の内訳を記入ください。

・「小計」には「～小学生」～｢高校生｣の合計、「合計」には｢小計｣｢指導者｣｢その他｣の合計を記入

ください。

・子育て支援活動・療育支援活動・フリースクール活動の場合は、「その他」欄の(　)内に「保護者」

「ボランティア」等記入の上、人数を記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| ７．主な指導者(複数名)の氏名・職業（例：学校教諭・市役所勤務・会社勤務・学生） | ８．主な収入源と金額（過去２年分）（会費、活動資金の主なもの、補助金等） |
| (上記４に記載の代表者)日生　花子 | ○○市役所勤務 | 会員から徴収する会費　６０００円（１人当り／年） |
| (主な指導者)日生　太郎財団　一郎財団　一子記入例 | 元小学校教諭大学生会社員 | ２０１６年度会費　　　　　１５万円 | ２０１７年度（見込）　　　　　　　１８万円 |
| 補助金(○○市)　５万円助成金　　　　　 なし | 　　　　　　　　　なし(○○財団)　　　５万円 |
| 寄付　　　　　 １万円謝礼　　　　　 １万円 | 寄付　　　　　　２万円謝礼　　　　 １万円 |
| 合計　　　　 ２２万円 | ２６万円 |

11.助成物品の名称　下記例を参考にして、各種助成申請物品のうち、代表物品を記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| キャンプ用テント・用具一式 | 長胴太鼓一式／伝統芸能用具・衣装一式 |
| 野球用具一式／カヌー・ライフジャケット一式 | 楽器一式／ミュージックベル |
| 剣道防具一式 | 子ども用遊具一式／療育遊具一式 |
| 天体望遠鏡／双眼鏡・フィールドスコープ等一式 | 絵本・紙芝居／児童図書・書架一式 |
| 農作業・園芸用具一式 | エプロンシアター／人形劇用具一式 |

＊申請後の内容変更は認められませんので、見積書等を取り寄せ、助成希望物品・金額を十分検討のうえ

申請ください。